



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月28日

上場会社名 橋本総業ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7570 URL http://www.hat-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 政昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 財務部長 (氏名) 佐々木 地平 TEL 03-3665-9000
 四半期報告書提出予定日 2021年2月2日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	98,613	△4.1	1,945	△4.2	2,269	△0.9	1,432	△3.7
2020年3月期第3四半期	102,798	5.3	2,030	21.4	2,290	21.9	1,488	19.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,957百万円 (12.3%) 2020年3月期第3四半期 1,742百万円 (77.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	141.55	140.96
2020年3月期第3四半期	146.78	146.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	83,552	23,488	28.0
2020年3月期	60,813	22,038	36.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 23,422百万円 2020年3月期 21,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	28.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	28.00	56.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 2021年3月期中間配当金の内訳は普通配当25円00銭、創立130周年記念配当3円00銭となっております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	0.1	3,000	2.8	3,200	0.5	2,200	3.9	217.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	10,646,526株	2020年3月期	10,646,526株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	522,276株	2020年3月期	528,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	10,121,132株	2020年3月期3Q	10,138,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気は依然として厳しい状況にあり、当建設業界においても、民間住宅投資は、持家・貸家・分譲全てで着工減が予想され、民間非住宅投資についても、前年比マイナスで推移が予想されます。一方、公共投資は、プラスで推移し、業界全体としてマイナスの中で推移すると予想されます。

	2020年度見通し		内 訳		
	名 目 投資額 (兆円)	対前期 増減率 (%)			
建設投資	63.4	△3.1	【民間】 ↓ (△5.7%)	【政府】 ↑ (4.2%)	【リフォーム】 ↓ (△13.4%)
民間住宅	15.1	△7.5	【持家】 ↓ (△9.7%)	【貸家】 ↓ (△10.5%)	【分譲】 ↓ (△5.3%)
民間非住宅	16.8	△4.1	【事務所】 ↓ (△10.3%)	【工場】 ↓ (△24.7%)	【倉庫】 ↑ (20.2%)
政府	24.5	4.2	【建築】 ↑ (15.1%)	【土木】 ↑ (1.5%)	
リフォーム	7.0	△13.4	【民間】 ↓ (△16.7%)	【政府】 ↑ (2.2%)	

(建設経済研究所資料より当社推定)

このような経済状況のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、連結ベースの売上高は98,613百万円（前年同四半期比△4.1%）、売上総利益は10,430百万円（同△3.4%）となりました。販売費及び一般管理費は8,484百万円（同△3.2%）で、営業利益は1,945百万円（同△4.2%）、営業外損益は323百万円（同+24.4%）計上でき、経常利益は2,269百万円（同△0.9%）となりました。

特別損益は、投資有価証券売却益等を特別利益に、また創立130周年記念関連費用等を特別損失に計上し、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,432百万円（同△3.7%）となりました。

セグメント別に見ると

管材類は売上高が28,303百万円で、前年同四半期比3,567百万円の減少（同△11.2%）となりました。

これは主に、新型コロナウイルスの影響により、オリンピック関連、ホテル・非住宅ビルの工期の延期等による影響及び新築着工件数、リフォーム需要の減少から、金属管材類、樹脂管材類の各分野で需要が減少したことによるものです。

衛生陶器・金具類は売上高が29,608百万円で、前年同四半期比253百万円の減少（同△0.8%）となりました。

これは主に、非住宅物件の分野では非接触商材の需要が好調に推移したものの新型コロナウイルスの影響により、新築住宅・リフォーム需要が低迷したことによるものです。

住宅設備機器類は売上高が17,000百万円で、前年同四半期比297百万円の増加（同+1.8%）となりました。

これは主に、新型コロナウイルスの影響で、ビルトインコンロ・食器洗い乾燥機をはじめとする住宅設備機器の取替受注が好調に推移したものです。

空調・ポンプは売上高が22,425百万円で、前年同四半期比599百万円の減少（同△2.6%）となりました。

これは主に、業務用空調については昨年学校物件の需要が好調に推移したこと及び新型コロナウイルスの影響により、工期の延期を受け、各分野での需要が減少し、またポンプについても同様に工期の延期の影響を受け、各分野で需要が減少したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、22,739百万円増加（+37.4%）し、83,552百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権の増加等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて、21,288百万円増加（+54.9%）し、60,063百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、1,450百万円増加（+6.6%）し、23,488百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では通期業績予想等につきまして、2020年5月8日に発表した業績予想を修正せず、据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,505	4,862
受取手形及び売掛金	23,831	33,412
電子記録債権	3,500	12,117
有価証券	200	304
商品	6,387	7,128
未成工事支出金	434	517
未収還付法人税等	104	129
その他	1,478	1,743
貸倒引当金	△25	△34
流動資産合計	39,416	60,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,860	5,197
減価償却累計額	△2,675	△2,805
建物及び構築物(純額)	2,184	2,392
機械装置及び運搬具	198	199
減価償却累計額	△135	△142
機械装置及び運搬具(純額)	62	57
土地	7,760	9,044
建設仮勘定	67	—
その他	864	999
減価償却累計額	△691	△757
その他(純額)	172	242
有形固定資産合計	10,248	11,736
無形固定資産		
のれん	36	18
その他	216	259
無形固定資産合計	253	277
投資その他の資産		
投資有価証券	6,221	6,580
長期貸付金	398	393
保険積立金	3,445	3,496
敷金及び保証金	368	362
退職給付に係る資産	88	156
繰延税金資産	227	218
その他	198	199
貸倒引当金	△52	△51
投資その他の資産合計	10,895	11,356
固定資産合計	21,396	23,370
資産合計	60,813	83,552

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,100	19,516
電子記録債務	10,272	5,517
短期借入金	3,021	27,885
1年内返済予定の長期借入金	1,307	1,356
未払法人税等	696	272
未成工事受入金	270	380
預り金	87	235
賞与引当金	536	215
その他	1,002	814
流動負債合計	34,296	56,192
固定負債		
長期借入金	1,400	585
繰延税金負債	1,603	1,834
再評価に係る繰延税金負債	316	316
役員退職慰労引当金	74	65
退職給付に係る負債	141	142
預り保証金	707	693
その他	236	233
固定負債合計	4,479	3,870
負債合計	38,775	60,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	542	542
資本剰余金	449	456
利益剰余金	20,347	21,242
自己株式	△523	△517
株主資本合計	20,815	21,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	989	1,492
土地再評価差額金	314	314
退職給付に係る調整累計額	△129	△108
その他の包括利益累計額合計	1,175	1,698
新株予約権	47	49
非支配株主持分	—	17
純資産合計	22,038	23,488
負債純資産合計	60,813	83,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	102,798	98,613
売上原価	91,999	88,183
売上総利益	10,799	10,430
販売費及び一般管理費	8,768	8,484
営業利益	2,030	1,945
営業外収益		
受取利息	26	20
受取配当金	118	148
仕入割引	522	508
その他	110	123
営業外収益合計	777	801
営業外費用		
支払利息	30	33
売上割引	375	361
手形売却損	10	3
営業外手数料	67	49
その他	33	29
営業外費用合計	517	477
経常利益	2,290	2,269
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	0	47
特別利益合計	1	47
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券売却損	0	—
災害による損失	—	2
損害賠償損失	—	23
新型コロナウイルス感染症による損失	—	45
創立130周年記念関連費用	—	71
特別損失合計	0	143
税金等調整前四半期純利益	2,291	2,173
法人税等	803	738
四半期純利益	1,488	1,434
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,488	1,432

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,488	1,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235	502
退職給付に係る調整額	19	20
その他の包括利益合計	254	522
四半期包括利益	1,742	1,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,742	1,955
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。